



高島学園

中学校だより 【第9号】

令和6年 9月 27日

TEL36-0079 FAX36-8012

【文責 校長 浦島 容子】

学園の歴史を超えていく

～主人公 だれもが輝く文化祭へ～

吹奏楽部の演奏を背景に、5、6年生が「100%勇気」を合唱し、文化祭が幕開け。今年の小中学生のコラボは15年目となる小中一貫校「高島学園」が誇る姿でした。それからの、吹奏楽部のソロを交えた演奏は、夏のコンクールから一層力をつけたものでした。

有志発表。「T!グランプリ!」として、みんなの心をわしづかみでした。出演者を学園全体で盛り上げ、最高の熱気。ダンスに歌、ピアノ、オタ芸、そして、コントに筋力、様々な才能を持った生徒が高島学園にいます。

学園劇。「夢をもつこと」の意味を考えさせました。キャスト、照明、音響、衣装などスタッフの一体感が光りました。

合唱。コンクールは5年ぶり。義務教育を終える15歳には、こんなにも美しい声が出せるようになるのかと思わせた9年生。

美しいハーモニーを聴かせた『栄光の架け橋』と『手紙』でした。

8年生、指揮・伴奏・歌の一体感から生まれるハーモニーは9年生に迫るもの、7年生の「本当に中1か」と思わせる合唱のうまさ、それぞれ圧巻でした。

高中街。学級がよく話し合ったことがわかります。7年生の真っ暗で、不気味なお化け屋敷は、9年生に「やばいくらい面白い」と言わせました。

工作部。圧倒される立体展示、「ハウルの動く城」が見事に再現されました。

文化祭を通して、友だちの頑張りを讃える、温かい拍手を贈る、クラスでまとまる、進んで行動する、生徒たちの尊い姿をたくさん見ました。

誰もが輝く文化祭、みんなが「心から楽しむ」ものとしたこの文化祭、高島学園史上に残るものです。

素晴らしい一日でした。

保護者や地域のみなさま、ご参観ありがとうございました。



8年目のコミュニティ・スクール

PTAトーク・フォークダンス

「できることから始めよう」今年のPTAのスローガンです。PTAの皆さんには、環境整備作業や学校行事への支援をたくさんしてもらっています。その保護者の皆さんの姿が子どもたちのより良い育ちへとつながっています。本当に感謝です。

PTA研修部がトーク・フォークダンスを企画しています。内容は後日案内があります。地域の皆さんもご参加ください。

トーク・

フォークダンス

日時 11月18日(木)

9:30~11:30

場所 高島中学校

高島マルシェ

日時 10月3日(木)

9:30~11:30

場所 高島中学校グラウンド

近日開催！高島マルシェ

高島マルシェの開催が来週に迫りました。文化祭を終え第2ステージの子どもたちが本格的に準備を始めています。第1ステージの子どもたちや地域の人々の笑顔が増えるように頑張ってくれます。とても楽しみです。

ご参加お待ちしております。

朝読書 10分から

朝の10分です。高島中学校は読書で始まり、一日のスタートをきっています。

朝の会が終わると、再び本に熱中する生徒がいました。話を聞いてみると、「今、これがめちゃくちゃ面白くて、はまっています」と言うのです。東野圭吾氏の『ある閉ざされた山の山荘で』だそうです。とても読みたくなりました。



また、映画になった原作本を貸してくれた生徒がいます。その本に、はまり、映画を再度見ました。『ラーゲリより愛をこめて』です。感動的です。

パリ五輪で活躍したバレーボールの石川祐希選手の「頂を目指して」を貸してくれた生徒もいます。

石川選手の夢に向かう強い気持ちが詰まっていた。先日、石川選手がイタリアでMVPを獲得した

というニュースがあり、自分のことのようにうれしくなりました。

読書は人生を豊かにすると言われます。知らず知らずのうちに、さまざまな成果がじわじわと生まれてきます。全国学テで本校は、「自分の考えを書く力が高まっている」という結果がでました。すばらしいことです。

『朝の読書が奇跡を生んだ』という本がありますが、10分間、本に向かう意味は、いろんなところにあります。

保護者や地域のみなさん、朝読書にお越しください。

2024年 下半期へ

一年の後半がスタートします。

生徒たちは、この半年間、多くのことに取り組み、主体的に生きる力がついてきました。

一年の後半がスタートします。今までつけてきた力をためす時が来ました。9年生は進路へ、8年生は秋季大会へ、7年生は第2ステージのリーダーへ、それぞれの力を大いに発揮してください。

